

第3章 ハケ遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

ハケ遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面のいわゆる川崎台の東側付け根に立地している。遺跡の東側を新河岸川が台地東縁をなめるように流れ、東方は新河岸川に臨む急峻な崖が形成されている。遺跡の北は落差2 m程度のゆるい斜面を形成し、小支谷が北から入る。標高は14～16 mを測る。遺跡の範囲は南北360 m、東西160 m以上ある。宅地開発される遺跡中央に畑が残っている。

周辺の遺跡は、舌状台地の北側に旧石器、縄文、古墳～奈良・平安時代、中近世の川崎遺跡が隣接し、台地続きの南東側に縄文時代前期、中期、晩期、古墳時代の著名な上福岡貝塚、権現山遺跡がある。

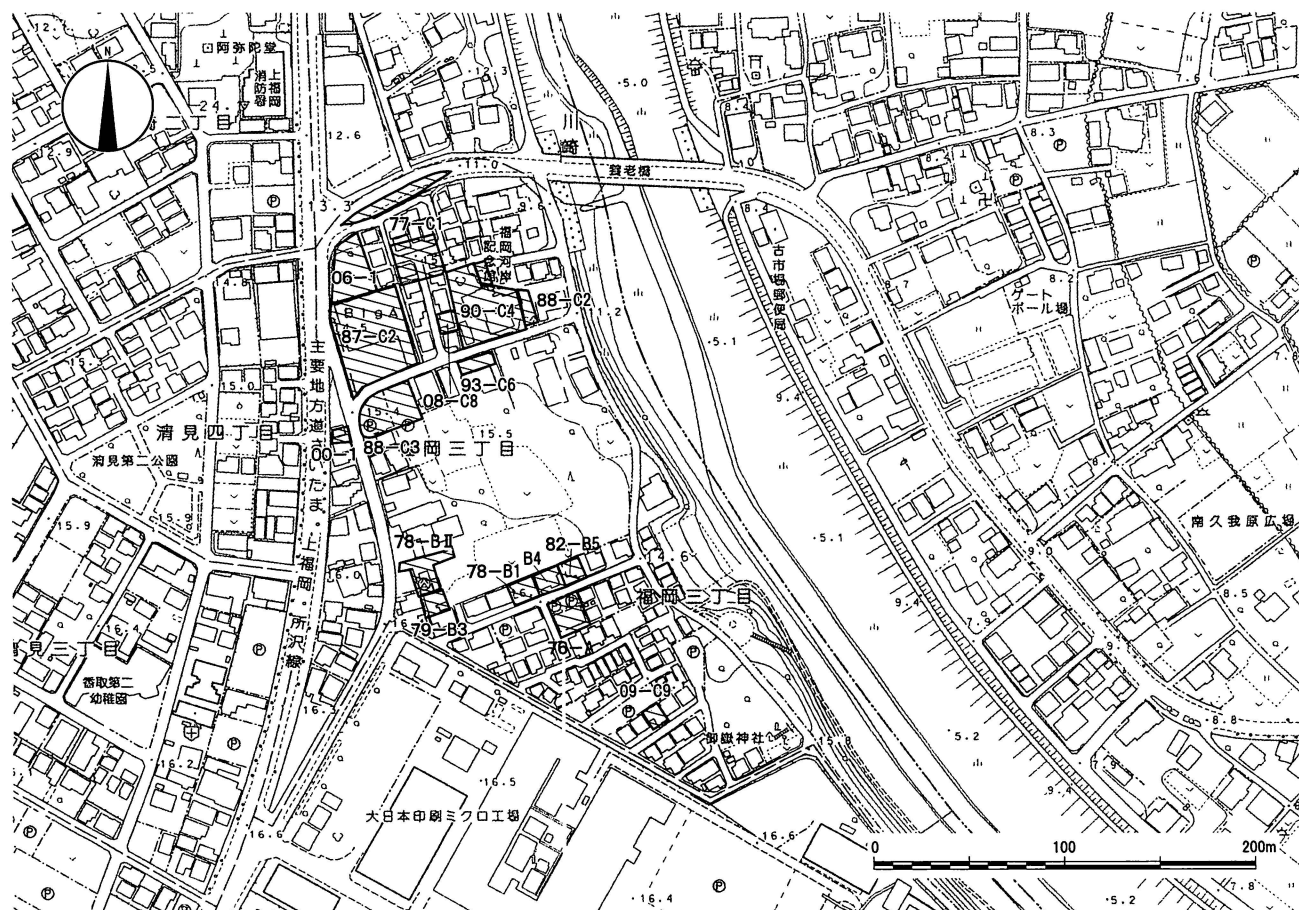
1976年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、以来13ヶ所で調査が行なわれている。主たる時代と遺構は縄文時代前期から後期の住居跡、古墳時代から奈良・平安時代の住居跡・掘立柱建物跡、近世鍛冶遺構（旧福田屋跡）である。なお、本遺跡は便宜上東西に走る道路によって3区分され、南側からA区、B区、C区と呼称されている。

II ハケ遺跡C区第8地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅の建替えに伴うもので、原因者より2009年1月22日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡北端の台地上に立地し、南側と東側の隣接地で住居跡を検出しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2009年3月17日に行なった。幅約1 mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった。調査の結果、調査区全面でコンクリート片等の建築資材やローム土で盛土されていたが、さらに地山を確認するため掘り進めた結果、住居跡らしき遺構覆土を検出したので、一部掘り下げたところ、縄文時代中期の遺構跡1、奈良・平安時代の溝等を確認した。70～150 cm厚の盛土があり、建築による遺構への影響がないため工事立会いとし、写真撮影・全測図作成等記録保存を行なったうえ埋戻し調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。



第 20 表 ハケ遺跡調査一覧表

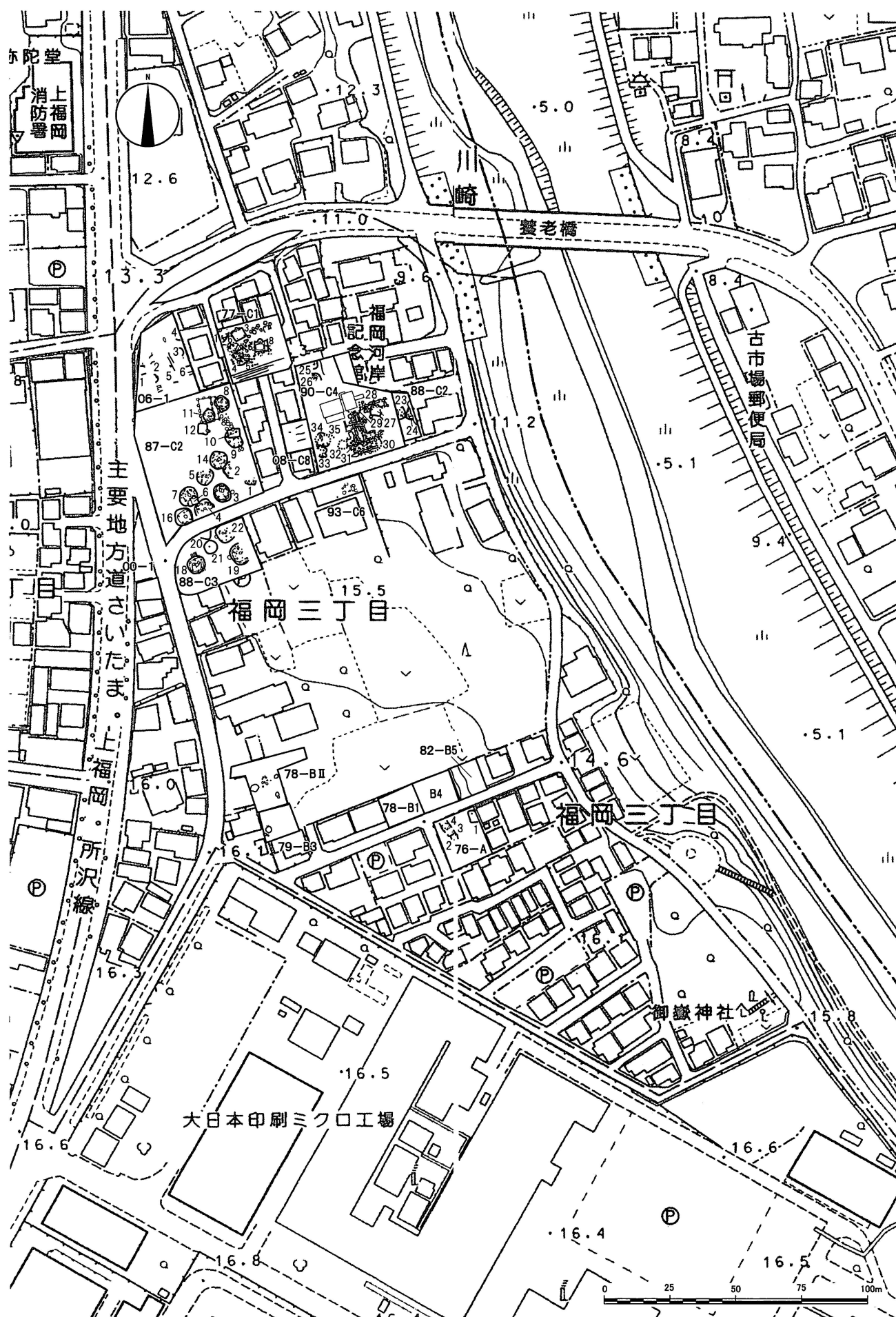
地区 地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
A-1 次	大字中福岡字遠見 1228 ～ 2021	1976.9.11 ～ 16	306	個人住宅建設	古墳住居跡 1、竪穴状遺構 3、縄文土器	上福岡市遺跡調査報告書
C-1 次	大字中福岡字清見 1480 番地	1977.8.2 ～ 27	1,794	宅地造成	縄文住居跡 5、奈良平安住居跡 2、竪穴状遺構、土坑、炉跡	ハケ遺跡調査会 ハケ遺跡 C 地区
B-1 次	中福岡 1228-40	1978.8.28 ～ 9.10	165	個人住宅建設	遺構無し、縄文中期土器片	埋蔵文化財の調査 (Ⅰ)
B-2 次	中福岡 1181-2	1978.9.11 ～ 25	360	貸家建設	土坑 4、炉跡 1、土器	埋蔵文化財の調査 (Ⅰ)
B-3 次	中福岡 1228-37	1979.7.20 ～ 31	166		土坑 3、縄文土器	埋蔵文化財の調査 (Ⅱ)
B-5 次	大字中福岡字遠見 1228-46	1982.5.10 ～ 17	165		溝 1、縄文中期土器	埋蔵文化財の調査 (Ⅴ)
C-2 次	福岡 3-2068 の 1.2	1987.4.16 ～ 5.29	1,900	倉庫付住宅改築	縄文中期住居跡 11、奈良平安住居跡 4、掘立 1	埋蔵文化財の調査 (Ⅹ)
C-3 次	福岡 2-2-1	1988.8.15 ～ 20	627	駐車場設置	縄文中期住居跡 4、平安住居跡 2	埋蔵文化財の調査 (11)
C- 試	福岡 3-4-2	1988.10.24 ～ 28	60	擁壁改修工事	縄文前期住居跡 1	埋蔵文化財の調査 (11)
C-4 次	旧福田屋敷地内	1990.6.20 ～ 9.6	500	河岸記念館	旧福田屋柱礎石跡、鍛冶屋建物跡、(礎石・火処 3・物置跡・粘土貼りつけ円形小竪穴)・江戸前期～中期長方形土坑 12・溝 1・平安住居跡 3・縄文中期住居跡 2、縄文後・晩期住居跡 3	2 年度教育要覧 市史資料編
C-6 次	福岡 3-1189,2056-2	1993.5.6 ～ 18	141	個人住宅建設	縄文中期土坑 6	埋蔵文化財の調査 (16)
C-4 次	福岡 3-2069-1 の一部	1994.6.10 ～ 1.31	54	河岸記念館管理棟・庭造成工事	縄文中期住居跡 5、土坑 30	埋蔵文化財の調査 (17)
C- 試	福岡 3-1184-8	2000.1.26	100	個人住宅建設	なし	埋蔵文化財の調査 (22)
C-7 次	福岡 3-2	(2006.7.10 ～ 22)	666	宅地造成	縄文・奈良平安遺構検出	市内遺跡群 3
C 区 8	福岡 3-2069-9	(2009. 3.17)	99	個人住宅建設	住居跡確認	市内遺跡群 6
C 区 9	福岡 3-1257-7,1259-1	(2010. 2.2 ～ 4)	120	個人住宅建設	土坑 1、風倒木 1	未報告

第 21 表 ハケ遺跡縄文時代住居跡一覧表 (単位 cm)

住居 番号	調査 年度	調査名	調査率	平面形 () は推定	規模	炉			埋壁	周溝	主軸 方位	時期	備考	文献
						地床	炉 体	石囲						
1	1977	C 地区 1 号住	1/4	(円形)	600 ×			○				加曾利 E Ⅱ		ハケ遺跡 C 地区
2	"	C 地区 4 号住	完掘	楕円形	(600)	○						加曾利 E Ⅰ		"
3	"	C 地区 5 号住	完掘	(方形)	400 × 500	○						諸磯		"
4	"	C 地区 6 号住	(完掘)			○						加曾利 E Ⅲ	7 住と重複	"
5	"	C 地区 7 号住					○	○				加曾利 E Ⅰ		"
6	1987	C 地区 2 次 1 号住	1/3						○			加曾利 E Ⅰ		埋蔵文化財の調査 X
7	"	C 地区 2 次 2 号住	西 1/2	隅丸台形				○		○		加曾利 E Ⅰ	連弧土器出土	"
8	"	C 地区 2 次 3 号住	完掘	楕円形	720 × 600			(○)		○		加曾利 E Ⅱ	連弧文、曾利系多い	"
9	"	C 地区 2 次 4 号住	北 1/2					○				加曾利 E Ⅱ		"
10	"	C 地区 2 次 5 号住	ほぼ完掘	円形	620	○						加曾利 E Ⅱ		"
11	"	C 地区 2 次 7 号住	完掘	円形	700			○				加曾利 E Ⅱ		"
12	"	C 地区 2 次 8 号住	完掘	円形						○		加曾利 E Ⅰ	2 軒の住居の重複	"
13	"	C 地区 2 次 9 号住	完掘	方形	720 ×	○			○	○		加曾利 E Ⅱ	10 住と重複	"
14	"	C 地区 2 次 11 号住	完掘	円形	450 × 400	○						加曾利 E Ⅱ		"
15	"	C 地区 2 次 14 号住	完掘	円形	660 × 640		○		○	○		加曾利 E Ⅱ	3 度建替え	"
16	"	C 地区 2 次 16 号住	完掘	隅丸台形	670 × 650	○			○	○		加曾利 E Ⅱ		"
17	1988	C 地区 3 次 18 号住	完掘	円形	650				○	2		加曾利 E Ⅱ	17 住と重複	"
18	"	C 地区 3 次 19 号住	西 2/3	円形	800 × 500			○		○		加曾利 E Ⅱ	2 軒の住居の重複	"
19	"	C 地区 3 次 21 号住	完掘	円形	460 ～ 480				○			加曾利 E Ⅰ	滑石製垂飾品	"
20	"	C 地区 3 次 22 号住	西 4/5	不整円形	700							加曾利 E Ⅱ		"
21	1990	C 地区 4 次 23 号住	1/4	(方形)								安行 I	床面から土偶	市史資料編
22	"	C 地区 4 次 24 号住	西側未調査	楕円形										"
23	"	C 地区 4 次 25 号住	南東隅 1/4	(円形)	500							加曾利 E Ⅱ		"
24	"	C 地区 4 次 26 号住	北東隅 1/4	(楕円形)	600							加曾利 E Ⅲ古		"
25	"	C 地区 4 次 28 号住										加曾利 E Ⅲ	土器片多量出土のため住居とした	"
26	"	C 地区 4 次 29 号住							両耳壺			加曾利 E Ⅲ古		"
27	"	C 地区 4 次 30 号住										称名寺～堀之内	土器片多量出土のため住居とした	"
28	"	C 地区 4 次 31 号住										堀之内	土器片多量出土のため住居とした	"
29	"	C 地区 4 次 34 号住	一部	楕円形	560					○		加曾利 E Ⅰ		"
30	"	C 地区 4 次 35 号住	一部	(円形)	(800 × 700)	○						加曾利 E Ⅲ		"

第 22 表 ハケ遺跡古代住居跡一覧表 (単位 cm)

住居番 号	調査 年度	調査名	調査率	平面形 () は 推定	規模	カマド		周溝	主軸方位	時期	備考	文献
						カマ ド K	設置 壁					
1	1976	A 地区 LN01	1/2	隅丸方形	440 ×	K	北	○		鬼高		上福岡市遺跡調査報告書
2	"	C 地区 3 号住	完掘	長方形	470 × 480	K	北	○		8C 3 四半期		"
3	"	C 地区 8 号住	完掘	長方形	560 × 388 × 44	K	北	○		8C 4 四半期		"
4	"	C 地区 2 次 6 号住	完掘	方形	300 × 280	K	北			国分		"
5	"	C 地区 2 次 10 号住	完掘	長方形	450 × 300	K	北	○		8C 末		"
6	"	C 地区 2 次 12 号住	完掘	長方形	400 × 340	K	南東	○		9C 後半		"
7	"	C 地区 2 次 15 号住	南東 1/4					○		9C 後半		"
8	"	C 地区 2 次掘立柱建物 桁行 4 間× 梁間 2 間			870 × 470				東面に庇	8C 中葉		"
9	1988	C 地区 3 次 17 号住	完掘	長方形	350 × 290	K	北東	○		10C 初頭		埋蔵文化財の調査 11 と市史資料編
10	"	C 地区 3 次 20 号住	南東 1/6							8C 3 四半期		"
11	1990	C 地区 4 次 27 号住	完掘	方形	400 × 380		北東	○		10C 初頭		"
12	"	C 地区 4 次 32 号住								10C 初頭	カマドの痕跡が確認されたため 住居とした	
13	"	C 地区 4 次 33 号住	ほぼ完掘	方形	320 × 340			○		8C 3 四半期	カタイ金具出土	"



第50図 ハゲ遺跡遺構分布図 (1/2,000)

(2) 遺構と遺物

【住居跡】調査区北東部に位置する。元の表土は削平されたうえ、盛土されており、覆土も削平を受ける。現地表面下 120cm で検出した。東西北方向へ覆土範囲は延長しており、南側も溝状遺構で削平される。トレンチ内では 70 × 150 cm の範囲に覆土を確認した。

縄文時代中期の土器片を検出しており、覆土の様相

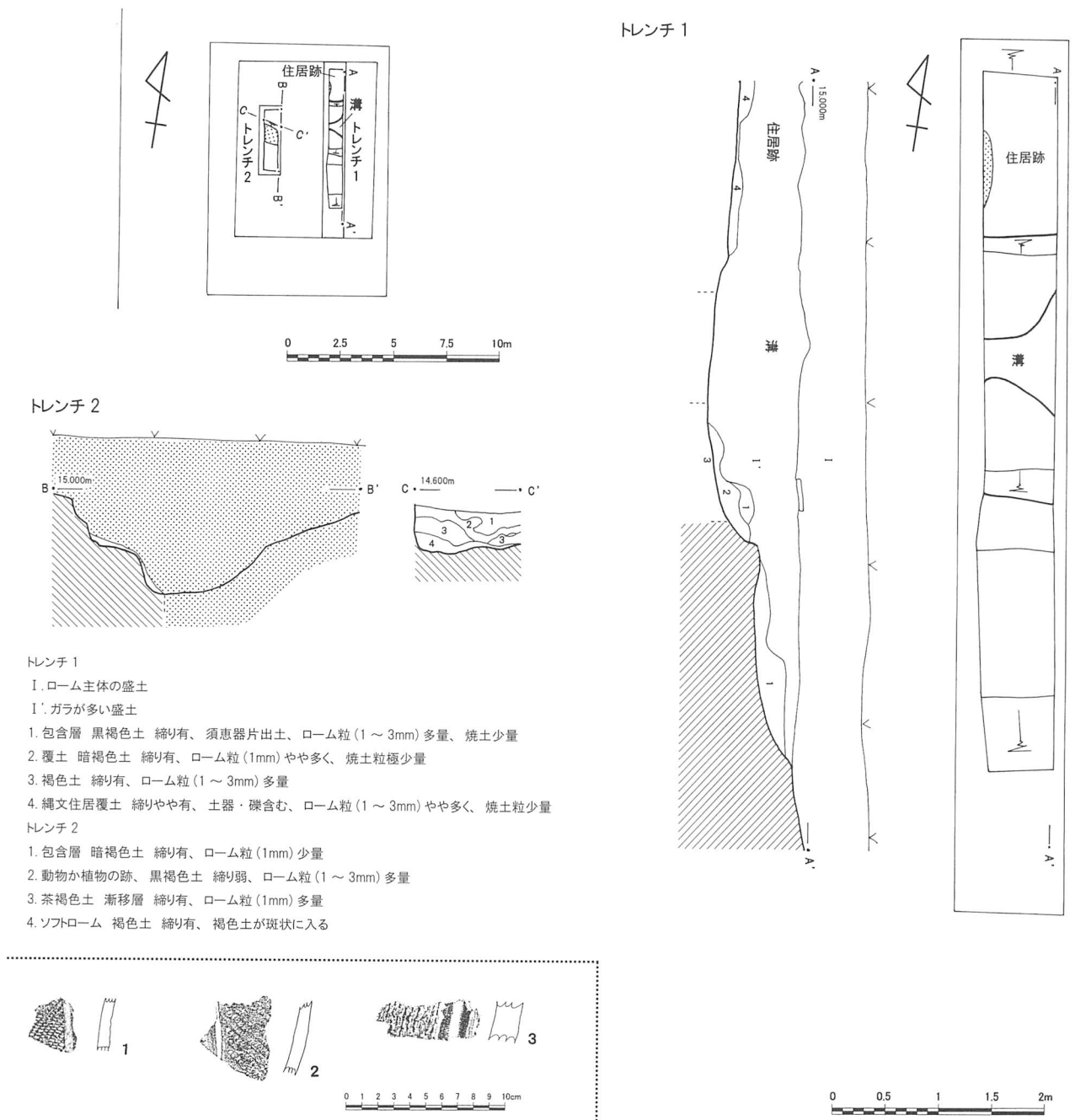
も縄文時代を示す。遺構プラン等は不明である。

【溝状遺構】調査区東部に位置する。元の表土は削平されたうえ、盛土されており、覆土も削平を受ける。現地表面下 105cm で検出した。南側では立ち上がりをもつ。

奈良・平安時代の土器片を検出しており、覆土の様相も同時期を示す。遺構プラン等は不明である。

第 23 表 ハケ遺跡C区第8地点出土遺物観察表 (単位cm)

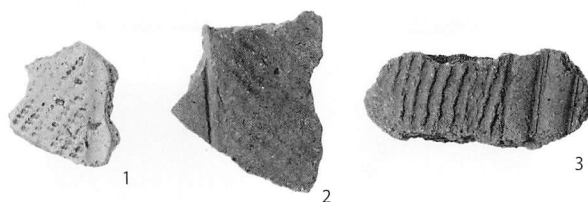
図版番号	掲載番号	遺構名	種別・器種	口径・長	底径・幅	器高・厚	技法 / 文様 / その他	石材 / 推定生産地	推定年代・時期	残存 / 備考
51 図	1	住居跡	縄文土器 / 鉢	—	—	—	RLR 縄文を縦位に施文後、沈線 / 砂粒含む / 注No.1 トレNo.1		縄文中期・加曾利 E	胴部破片
	2	住居跡	縄文土器 / 鉢	—	—	—	RL 縄文を縦位に施文後、沈線間を磨消す / 砂粒含む / 注No.1 トレ		縄文中期・加曾利 E	胴部破片
	3	住居跡	縄文土器 / 鉢	—	—	—	擦糸文を縦位に施文後、2 本組隆帯を貼り付ける / 砂粒多量含む / 注No.1 トレ		縄文中期・加曾利 E	胴部破片



ハケ遺跡 C 区第 8 地点、権現山遺跡第 23 地点、亀居遺跡第 63 地点 (1)



ハケ遺跡 C 区第 8 地点全景



ハケ遺跡 C 区第 8 地点出土遺物 No.1 ~ 3



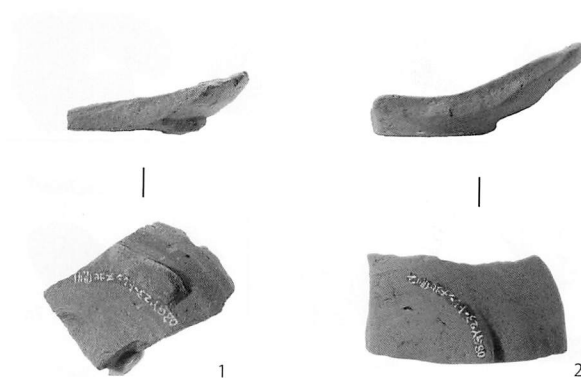
権現山遺跡第 23 地点



権現山遺跡第 23 地点



権現山遺跡第 23 地点集石



権現山遺跡第 23 地点



亀居遺跡第 63 地点全景



亀居遺跡第 63 地点 16 号住居跡

報告書抄録

書名	市内遺跡群 6	シリーズ名	ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第 7 集			
編集者	高崎直成	著者	高崎直成			
編集機関	ふじみ野市教育委員会	所在地	〒 356-8555 ふじみ野市大井中央一丁目 1 番 1 号 TEL 049 (261) 2811			
発行日	2011 年(平成 23 年)11 月 30 日					
所収遺跡地点名	所在地	市町村コード	北緯	調査開始	調査面積	調査原因
		遺跡コード	東経	調査終了	m ²	調査担当者
	種別 / 主な時代・主な遺構・主な遺物					
	特記事項					
川崎遺跡第 25 地点	川崎 203-1、203-3 の一部	112453	35° 53′ 22″	20080414	55	個人住宅建設
		25-003	139° 31′ 13″	20080417		高崎直成
	集落跡 / 平安時代・掘立柱建物跡 1 棟、近世・溝 1 条、地下室 1 基・縄文土器、灰釉陶器、土師器、須恵器、近世陶磁器					
	古代集落の北端で掘立柱建物跡を検出					
川崎遺跡第 26 地点	川崎 230-5	112453	35° 53′ 17″	20080421	228	個人住宅建設
		25-003	139° 31′ 12″	20080517		越村篤
	集落跡 / 奈良・平安時代竪穴住居跡 4 軒、土坑 6 基、ピット 20 基、近代以降の井戸 1 基・石器、土師器、須恵器、石製品、近世陶磁器					
	古代集落の中央で住居跡群を検出					
川崎遺跡第 27 地点	川崎 1-7-1	112453	35° 53′ 06″	20080515	112	個人住宅建設
		25-003	139° 31′ 05″	20080521		坪田幹男・高崎直成
	集落跡 / 時期不明の溝 1 条、土坑 1 基					
	東西に続く溝の一部を検出					
川崎遺跡第 28 地点	川崎 230-7	112453	35° 53′ 17″	20080704	160	個人住宅建設
		25-003	139° 31′ 13″	20080808		越村篤
	集落跡 / 奈良・平安時代竪穴住居跡 2 軒、土坑 2 基・土師器、須恵器、石製品、近世陶磁器					
	古代集落の中央で住居跡群を検出					
川崎遺跡第 29 地点	川崎 230-1	112453	35° 53′ 18″	20080709	108	個人住宅建設
		25-003	139° 31′ 13″	20080822		越村篤
	集落跡 / 奈良・平安時代竪穴住居跡 2 軒、溝 3 条・土師器、須恵器、石製品、銭貨、近世陶磁器					
	古代集落の中央で住居跡群を検出					
川崎遺跡第 30 地点	川崎 230-6	112453	35° 53′ 17″	20080717	200	個人住宅建設
		25-003	139° 31′ 13″	20080905		越村篤
	集落跡 / 奈良・平安時代竪穴住居跡 4 軒、井戸 3 基、土坑 4 基、溝 5 条・縄文石器、土師器、須恵器、灰釉陶器、石製品、銭貨、近世陶磁器					
	古代集落の中央で住居跡群を検出。墨書土器検出					
ハケ遺跡 C 区第 8 地点	福岡 3-2069-9	112453	35° 53′ 06″	20090317	11	個人住宅建設
		25-005	139° 31′ 21″	20090317		高崎直成
	集落跡 / 縄文時代住居跡確認・縄文土器					
権現山遺跡第 23 地点	滝 1-6-7	112453	35° 52′ 49″	20081023	12	古墳整備
		25-009	139° 31′ 40″	20081029		坪田幹男・市丸靖子
	集落跡 / 時期不明土坑 3 基、集石 1 基					
亀居遺跡第 63 地点	亀久保 2-13-5	112453	35° 51′ 51″	20080917	312	モデルルーム
		30-030	139° 30′ 28″	20081015		高崎直成
	集落跡 / 縄文時代竪穴住居跡 1 軒、土坑 3 基、ピット 29 基、近世以降の溝 1 条・縄文土器					
松山遺跡第 45 地点	築地 3-4-7 の一部外 6 筆	112453	35° 52′ 20″	20080904	390	道路築造
		25-010	139° 31′ 51″	20081023		越村篤・高崎直成
	集落跡 / 奈良・平安時代竪穴住居跡 2 軒、掘立柱建物跡 2 棟、時期不明の溝 10 条、溝状遺構 3 基、ピット 4 基・土師器、須恵器					
	建材と思われる「クリ」と「イネ科」の炭化材が出土した焼失住居跡を検出					